

## 炭素材料学会創立70周年記念行事報告

令和元年は、炭素材料学会の設立から70周年にあたり、第46回炭素材料学会年會を開催中の岡山大学創立五十周年記念館において、2019年11月29日（金）、70周年記念行事が催されました。

記念行事に先立ち、本會が70年の長きにわたり着実に発展してきましたこと、また、活性炭や各種炭素・黒鉛材料等の工業材料から、ナノチューブ、グラフェン等の先端材料までを対象として、炭素材料に関する研究分野で常に世界を牽引してまいりましたことに鑑み、これまで炭素材料学の発展について顕著な功績を残され、炭素材料学会ならびに日本學術振興會炭素材料第117委員會の運営にご尽力いただいた諸先生に感謝の意を表するため、炭素材料学会として功勞賞（名譽會員）を制定いたしました。例年、年會の會期中に行われる總會に続けて70周年記念行事を設け、真田雄三先生、高橋洋一先生、菱山幸宥先生、稲垣道夫先生、白石稔先生、安田榮一先生、遠藤守信先生のご列席を賜り、功勞賞を授与させていただき、引き続いて、お一人ずつご講話をいただきました。

記念行事には、産業界、学界から多くの方にご出席戴き、豊田運営委員長の司會のもと、尾崎純一學會長の挨拶、川口雅之学振117委員會委員長のご祝辞、炭素協會會長の東海カーボン代表取締役社長長坂一氏のご祝辞（代読）に続き、受賞された先生方の表彰式を執り行い、記念の盾が贈られました。表彰式に続いて、受賞の先生方皆様から貴重なご講話をいただきました。

ご講話では、炭素材料学会の前身の研究会の立ち上げ時の大変な時期のお話、当時の若手で切盛りした研究会での運営方針が、現在の学会/年會の基礎となっていること、学会で学会賞を設定した際の当時の重鎮の先生方とのやりとり、学振117委員會の創世時のお話、さらには海外へ留学された際の研究に関してのお話等、多くの学会員に取ってはこれまでに伺ったことのないお話が多く、非常に興味深く拝聴することができました。いずれも聴衆をまったく飽きさせることなく、あっという間に予定時間を迎えました。また、当日の特別講演の後に外部で開催された懇親會に、全ての先生にご出席をいただき、さらに興味深いお話をお伺いすることもできました。

令和元年に、学会が創立70年を迎えることができましたこと、また、これまで長きにわたって学会を活発に運営できてまいりましたことは、諸先生、先輩方のご尽力の賜物であると考え、改めて感謝申し上げます。

（文責 大分大学 豊田昌宏）

真田先生



菱山先生



稲垣先生



白石先生



安田先生



遠藤先生

